

角田市総合教育会議 会議要旨

会 議 名	令和2年度第1回角田市総合教育会議
開 催 場 所	角田市役所301会議室
開 催 日 時	令和2年11月19日(木) 13:45～14:45
出席者名簿	12名(別紙のとおり)
事 務 局	総務部企画財政課
<p>(次 第)</p> <p>1. 開 会</p> <p>2. 開会あいさつ(市長)</p> <p>3. 協 議</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 教育振興基本計画の延長及び見直しについて</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 所信表明について</p> <p>4. その他</p> <p>5. 閉会あいさつ(教育長)</p> <p>6. 閉 会</p>	
<p>(会議要旨)</p> <p>3 協 議</p> <p>(1) 教育振興基本計画の延長及び見直しについて</p> <p style="padding-left: 20px;">資料に基づき、森山教育次長より説明を行った。(説明要旨省略)</p> <p style="padding-left: 20px;">○質問等はなく、原案どおり承認</p> <p>(2) 所信表明について</p> <p style="padding-left: 20px;">資料に基づき、黒須市長より説明を行った。(説明要旨省略)</p> <p>協議要旨</p> <p>○所信表明の第2の重点目標は、これからの教育に関する非常に重要な部分だと思われるが、「子どもたちと共に、生きる力を養う」という言葉について、主体を考えた時に、「親も子どもたちと一緒に成長する」という意味も込められていると解釈してよいか。</p> <p>→全くそのとおりで、子どもたちだけを育てるのではなくて、育てる側の我々が、子どもたちを育てる過程の中で、自分たちも育っていかなくてはならないと思っている。</p> <p>○所信表明における「少子化対策の成功事例に学ぶ」という点について、角田市が学ぶべき少子化対策の成功事例が無いのが現状だと感じる。成功事例や先行事例を集めて参考に仕事を進めるというのは大切なことだが、これからは、むしろ角田市独自の新たな手法を考えていくことが、この少子化対策の具体案を創り出しやすいのではないかと考える。また、「ふるさとを誇りに思う人づくり」については、「コミュニティスクール構想」こそが、そ</p>	

の土台となるものだと考えている。学校統廃合の件も含めて、地域の方々の理解を得た上で、具体的な施策を構築できるよう推進していきたい。

→「成功事例に学ぶ」ということについては、それに固執することなく、参考にすべきことは取り入れつつ、角田独自のものを打ち出していかななくてはならないと考えている。

4 その他（特になし）

● 出席者名簿

○ 会議構成員（6名）

◇ 市長 黒須 貫

● [教育委員会]

◇ 教育長 佐山 富夫
◇ 教育長職務代行者 安藤 正夫
◇ 教育委員 毒島 弘美
◇ 教育委員 大内 啓邦
◇ 教育委員 加藤 真由美

○ 説明者（1名）

◇ 教育次長兼教育総務課長 森山 旭

○ 事務局関係（5名）

◇ 総務部次長兼企画財政課長 玉渕 和紀
◇ 総務部企画財政課課長補佐 大槻 康弘
◇ 教育総務課課長補佐 森 敦
◇ 教育総務課総務係長 宗片 由佳
◇ 総務部企画財政課企画調整係長 齋藤 謙

● （敬称略・順不同）